2012 年日本国内及び日系海外のボンド磁石生産・需要動向

企画委員長 (㈱メイト)
石田　知久

企画委員会では、日本ボンド磁性材料協会の事業の一環として、国内および海外でのボンド磁石の生産・市場動向を調査報告しております。会員各社からの統計値と、毎年 12 月に開催される世界ボンド磁石統計討論会での情報を元に企画委員会でまとめ、生産重量と金額の推定値を算出し公表しております。

国内生産

1.　まとめ

2012 年のボンド磁石の国内生産は、フレキシブルとリジッドボンド磁石が重量で 2011 年比減少したのに対して、希土類ボンド磁石は 14%程度の増加と推定しました。

2　フレキシブルボンド磁石

2012 年の国内生産は 2,550 トン（前年比 98%）、金額で 18.8 億円（前年比 99%）と推定。　マグネットシート素材応用の教材、文具、ノベルティ市場は比較的堅調でしたが、マイクロモータ市場がパソコン業界の不振により大きく減少しました。

モータ分野では今後、高磁気特性・高耐熱・ノンハロゲン系ボンド磁石の需要増により、日本メーカーの高付加価値製品の国内生産に期待されます。

3　リジッドボンド磁石

2012 年の国内生産は 6,000 トン（前年比 88%）、金額で 91 億円（前年比 89%）と推定。減少の原因は、OA 用とでマグローラ方式のプリンタ・複写機の低迷と、海外安価品への代替等と推測します。

今後は HV、EV、アイドリングストップ機構の需要増に並行して、リジッドボンド磁石の需要増が期待されます。

4　希土類ボンド磁石

2012 年の国内生産は、2011 年から 2012 年にかけての希土類原料価格の乱高下にもかかわらずに伸び続け、800 トン（前年比 114%）となりました。この増加分は高磁気特性グレードの伸長と思われ、モータ用途とセンサー用途の増加と推測します。

日系メーカーの海外生産金額

2012 年の日系メーカーの海外生産金額は、フレキシブル、リジッド、希土類ともに減少。タイの洪水の影響残、中国の反日騒動、パソコンの販売不振と HDD の不調が原因と思われます。

希土類ボンド磁石の日系メーカーの海外生産金額は国内同様、希土類原料価格の乱高下による磁石生産価格が大幅に変動したため生産金額の推定が困難となり重量推定だけに留め、3,200 トン（前年比 97%）と推定しました。

フレキシブルフェライトボンド磁石

	生産量（トン / 年）	前年比	生産金額（百万円 / 年）	前年比
２００９年	2,530	70%	1,931	70%
２０１０年	2,600	103%	1,900	98%
２０１１年	2,600	100%	1,900	100%
２０１２年	2,550	98%	1,880	99%

リジッドフェライトボンド磁石

	生産量（トン / 年）	前年比	生産金額（百万円 / 年）	前年比
２００９年	5,670	70%	8,400	71%
２０１０年	7,000	123%	10,500	125%
２０１１年	6,800	97%	10,200	97%
２０１２年	6,000	88%	9,100	89%

希土類ボンド磁石

	生産量（トン / 年）	前年比	生産金額（百万円 / 年）	前年比
２００９年	360	69%	5,760	66%
２０１０年	600	167%	9,700	168%
２０１１年	700	117%	―	―
２０１２年	800	114%	―	―

日系メーカーの海外生産金額

単位：百万円 / 年

	フレキシブル	リジッド	希土類	合計
２００９年	500	4,200	18,200（2,000 トン）	22,900
２０１０年	500	9,500	30,000（3,400 トン）	40,000
２０１１年	500	9,500	（3,300 トン）	―
２０１２年	460	8,500	（3,200 トン）	―